

資料室便り

交通の専門図書館 交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）



『伝説の技術者・島秀雄の物語』 —新編 新幹線をつくった男』

高橋団吉著
イカロス出版発行
2024年6月/3,300円（税込）
所蔵箇所：信濃町

島秀雄は「東海道新幹線の生みの親」として知られる鉄道技術者であり、その生涯はほぼ20世紀すべてにわたる。現役エンジニアとして活動した期間だけでも50年以上。デゴイチ（D51形）からシロクニ（C62形）、湘南電車やビジネス特急こだま、東海道新幹線ひかり号、そして宇宙ロケットまで数多くの乗り物を手掛けた。

このうち本書では「東海道新幹線」に絞って、昭和の政治・経済、そして国際関係という背景までを描いている。東海道新幹線はどのように計画され、どのような苦難を乗り越えて開業を迎えたのか。なぜ、敗戦間もなく国力の乏しかった日本において完成させることができたのか。主人公・島秀雄の足跡を辿るとともに、同じく鉄道技術者であった父・安次郎の残した資料や草稿類、次男・隆の証言も活用しつつ、島家三代にわたる技術のドラマとして実像を描き出す。

新編となった今回は、2000年に発売された『新幹線をつくった男 島秀雄物語』をベースに、その後の取材によって明らかになった数々の新事実を大幅に追加した完全保存版となっている。（原）

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『新幹線 50年史』

交通協力会編集・発行

2015年3月
所蔵箇所：上野（一般公開中）

高速かつ大量輸送を実現した新幹線鉄道は、本年10月1日に開業して60年を迎える。本書は、東海道新幹線の開業50年にさいして取りまとめられた記録である。構成は、前史、高速鉄道の幕開け、高度成長と新幹線、低成長時代と転換期、全国新幹線網に向けて、新幹線を支える安全システム、JR時代の新幹線、巨大地震への備え、日本から世界へ、の9章からなる。

新幹線の記録には、代表的なものとして国鉄が刊行した『新幹線十年史』（1975年）、『東海道・山陽新幹線二十年史』（1985年）やJR東海の『新幹線の30年——その成長の軌跡』（1995年）などがある。これらは東海道・山陽新幹線が中心であるが、本書は、同線に加え、それ以後に開業した東北・上越新幹線、国鉄分割・民営化後に全国に広がった新幹線網についてまとめたものである。

なお、巻末に新幹線に関連する基本文献が127件紹介されており、新幹線を知るうえで参考になる。交通経済研究所でも所蔵しているものが多数あり、資料室にご来室のうえ本書とともにご覧いただきたい。（土方）

資料室からのご案内

蔵書オンライン検索、新着図書・雑誌の情報、月別新着図書目録、所蔵社史・年史のリストなどは、資料室HP（<https://www.itej.or.jp/about>）をご覧ください。

担当：古森崇史、原祥太、土方規義、田邊由佳

